

院内BLS研修

(Basic Life Support:一次救命処置)



急な処置もできる様に
院内で随時研修を実施

地区(RAMLA)の 防災訓練に東原先生 参加



神楽坂 防災まつりに 医師、看護師、医療スタッフ参加



白衣で
コスプレ
大人気!

DMAT ご紹介!

(Disaster Medical Assistance Team)



急な災害に備えています

牛込消防署主催 自衛消防 訓練審査会に毎年参加



震災訓練 万が一に備えて



2024.3.4

緊急時の備え 災害の備えとして防災グッズを紹介します

- 水※1人あたりおよそ 500ml×3本
- 食品※1日あたりおよそ3食分
- 携帯トイレ※1人1日あたりおよそ8回程度
- 衣類・下着
- 救急用品(絆創膏、包帯、消毒液)
- 使い捨てカイロ
- ブランケット
- LED ライト・ランタン
- モバイルバッテリー(電池式が望ましい)
- マスク
- 常備薬
- 保険証・おくすり手帳のコピー
- 現金(公衆電話用の10円玉含む)
- ヘルメット(頭を守るもの)
- 軍手・手袋
- 万能ナイフ
- レインコート
- 電池式の扇風機
- 歯ブラシ
- 簡易敷マット
- 消毒用アルコール
- 筆記用具(マジックペンなど)・メモ帳
- 笛

- 高齢者がいる家庭の備え
 - 大人用紙パンツ
 - 吸水パッド
 - 介護食※必要な場合
 - 入れ歯洗浄剤
- 日常必需品の持ち出しに留意!
 - 杖
 - 入れ歯
 - 補聴器

忘れないように
しましょう!



両手が空く
リュックがおすすめ!!

動画でわかる! 手作り防災グッズ

- ① 手作り
トイレ
- ② タオルと
ポリ袋で
手作りオムツ

出典 ① NHK 身近なもので手作り防災グッズ
② YouTube 段ボールでまもろうサクラパックス株式会社

お役立ち情報

- 心肺蘇生法
の手順
(日本医師会)
- 地震の揺れの体験
初期消火や
応急救護
(東京消防庁)
- 地震その時の
10のポイント
(東京消防庁)

編集後記

今年度のSMCは災害医療を特集しました。当院では地域の皆様にもって様々な行事を実施していますが、今回は災害についてまとめてみたところ、自分たちでも驚くほどの活動をしていました。これを機に、SMCと災害についても皆様にご覧いただけると嬉しいです。

メディア編集部



独立行政法人 地域医療機能推進機構
東京新宿メディカルセンター

発行：JCHO東京新宿メディカルセンター

〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1

TEL：03-3269-8111 (代表)

<https://shinjuku.jcho.go.jp/>



それいけ! シンジユク SMC! センター vol.08 2024.8 メディカル

独立行政法人地域医療
機能推進機構 (JCHO)
東京新宿
メディカルセンター
広報誌

SMC災害特集

知っておきたい JCHO新宿と防災
～災害時も地域の皆さまの支えになります～

お役立ち情報・緊急時の備え
チェックシート付き

小野貴司
副院長

目次 index

- 当院は災害拠点病院に
指定されています
- 当院の備蓄薬剤
- 能登半島地震派遣ナースインタビュー
- 緊急時の備えチェックシート
- お役立ち情報

special feature

1

当院は災害拠点病院に指定されています

東京都は災害時に主に重傷者の収容・治療を行う病院を東京都災害拠点病院として指定しており、当院はその病院として指定されています。

- 主な指定基準 -



24時間緊急対応。

災害発生時に傷病者の受入れ救出が可能な体制を有する。



災害派遣医療チーム「DMAT」があり、派遣体制がある。



原則として、200床以上の病床を有する救命救急センターまたは第二次救急医療機関である。



被災後、早期に診療機能を回復できるよう、業務継続計画(BCP)の整備をしている。



※当院では2023年度展示企画として病院正面入口に「関東大震災から100年：過去の災害から学ぶ防災・減災」を展示しておりました。この取り組みはJOHOニュースNo.40にも掲載されました。

JOHO
ニュース
No.40は
こちら



special feature

3

私たちが皆さまを守ります！



SMC災害特集

知っておきたい JCHO新宿と防災
～ 災害時も地域の皆さまの支えになります～

special feature

2

当院の備蓄薬剤

当院では災害時にも必要な医薬品が不足しないよう、日常的に使用する医薬品は約3日分以上を備蓄しています。

そして、災害発生時に救急医療を提供できるよう鎮痛剤や抗生剤の備蓄も行っています。



注射薬などの備蓄



輸液も十分な量を備蓄しています

point

災害時に お薬で困らないために！

災害発生時にはお薬が入手困難になることがあります。普段お使いのお薬は3日分の予備を持ち歩くことをお勧めします。重要なお薬は7日分ほどあると安心です。

お薬が無くなった場合でも「お薬手帳」があると、緊急対応としてお薬をお出しできる場合もあります。日頃から携帯しておきましょう。

special feature

4

能登半島地震派遣 ナースインタビュー

当院から能登半島地震災害支援ナースとして、2名の看護師がボランティアで派遣されました。(2/7～2/10)



- Q なぜ災害地区に行きたいと思いましたか？
- A 微力ですが、何かできることがあれば是非やらせていただきたいと。
- Q 現場で何をしましたか？
- A 病院で病棟勤務(清潔ケアや食事介助など)をしました。
- Q 印象に残っていることを教えてください。
- A 断水が続いており、水が自由に使えず清潔ケア・トイレ介助が大変でした。歩ける患者さまは自衛隊風呂までお連れしました。



能登半島地震派遣看護師